

卒 60 双輪会 立教高校卒業60年

私達第2回生は昭和25年(1950年)に卒業し、昨年2010年に、卒業60年を迎えました。右の写真はその節目の同期会での記念写真で、平成22年5月8日に立大、学食の「藤棚」に37名が集まりました。私達は昭和23年3月に旧制中学の4年を終了し、4月に新制高校の2年に進みました。1学年3組で担任は深澤富雄先生、高杉信夫先生、柴田北彦先生でした。

60年前も振り返れば昨日のようですが、この歳月に担任の先生は全て世を去り級友の四分の一以上が鬼籍に入りました。



体操 立教高校体操部OB会

毎年3月の第1土曜日に大学第1学食で開催しています。毎回15名位のOBが参加され、会計報告や次回のタンマ会(山のぼり・ゴルフ会)の打ち合わせ等が行われます。森田先生の創部メンバー(70代。皆さんお元気です)から若手(40代)などがご出席されます。平成24年度は体操部創部60周年の記念事業も行われます。同窓会報をご覧の高校体操部OBの皆様、是非ご出席をいただき、楽しい時間をお過ごし頂ければと思います。



出席者 森田利光・大野道雄(30)、石川義一(31)、池田弘・馬場徹・中山賢二(38)、荒川諭・小林長輝(40)、古橋透(43)、中井環(48)、金原伸好(54)、海野善行(58)、浅香智之(62)、大隅健一(平2)、若林宏幸・石川智弥(3)

剣道 ご案内 立教池袋剣道部OB総会

今年の立教池袋剣道部OB総会は、立教中・高等学校同窓会総会と同日の6月25日(土)に開催いたします。OB総会終了後、立教中・高等学校同窓会60周年記念パーティーに合流したいと考えております。立教中学校剣道部OBの先輩方、立教池袋校剣道部OBの先輩方におかれましては、ぜひ剣道部のOB総会にもご出席いただき、剣道部とOB会の現況にご理解・ご協力そしてご支援をいただきたく、よろしくお願ひ申し上げます。詳細が決まり次第、連絡先が把握できている先輩方にはご案内させていただきます。

お問い合わせ：立教池袋剣道部OB会事務局 森 弘樹(中学平成元年卒業) E-Mail: rik.ike.ken.obkai@gmail.com

大学野球 ご案内 立教健児、神宮球場で活躍中!

現在、明治神宮野球場において、東京六大学野球春季リーグ戦が開催されています。

立教大学野球部の主力選手である斎藤隼(4年・投手)や岡部賢也(3年・投手)をはじめ、多くの中高同窓生が神宮の大舞台で活躍しています。母校の応援をしながら、立教時代の青春を懐かしく思い出していただければと思います。



斎藤隼(立教池袋出身)



岡部賢也(立教小・立教新座出身)

昨年より神宮球場の応援席(500円)には、在校生だけでなくどなたでも入場できるようになりました。同窓のご友人様やご家族様をお誘いあわせいただき、ご声援の程、宜しくお願ひ申し上げます。

詳しくは立教大学野球部HPをご覧ください。 <http://rikkyo-bbc.com/>



立教中高同窓会 会報 No.5 2011年4月発行

60th ANNIVERSARY



2011年立教中学校・高等学校同窓会感謝礼拝、定期総会
同窓会設立60周年記念祝賀会

2011年6月25日(土)

感謝礼拝、定期総会 16:00開始 立教学院諸聖徒礼拝堂(池袋)

60周年記念祝賀会 17:30受付開始 ホテルメトロポリタン

(ホテルメトロポリタン 東京都豊島区西池袋1-6-1 電話03-3980-1111 池袋西口徒歩3分)

一般会員	10,000円
学生会員	3,000円
同窓会新入会員	3,000円

薫風の候、同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

キリスト教に基づく教育を施すことを目的として創立された我ら母校の立教学院。時々の社会の流れに影響されながらも、多くの教職員と卒業生の弛まぬ努力と尽力によって、立教中学校・高等学校同窓会は今年、設立60周年を迎えます。

この歴史も偏に神のご加護によるものと深く感謝し、今年の定期総会では感謝礼拝と記念祝賀会を催すことといたしました。是非、思い出のチャペルで恩師と同窓生同士、心をつなげて賛美の感謝礼拝を捧げたいと思います。また、記念祝賀会ではいくつかのアトラクションをご用意し、皆様をお迎えいたします。時を忘れ、新入会員を交え、多くの恩師と同窓生が相集い、青春を謳歌した頃の池袋と新座の懐かしい思い出を振り返り、語り合い、励まし合い、旧交を温めるひと時を楽しんでいただきたいと思います。

日頃ご活躍の同窓生の皆様、同窓会設立60周年の節目の年ですので、どうぞ万障お繰り合わせのうえ、お仲間を誘い合っただけのご参加をお待ち申し上げます。

※尚、会場の準備がございますので、ご出席のお申し込みは同封の払込取扱票に「記念祝賀会費・維持会費の金額等」必要事項をご記入のうえ、5月27日までにお願い致します。卒業年は、封筒の宛名シールをご参照下さい。



当日ご出席頂いた同窓生の皆様には、60周年限定同窓会マークのピンバッジを進呈いたします。

会長挨拶

立教中学校・高等学校同窓会 会長 永井寛泰



立教中学校・高等学校同窓会設立60周年、立教学院の長い歴史の1ページに標されることを皆様と共に喜び、感謝致します。

さて、私達執行部が最初に力を合わせて手掛けたのは財政基盤の確立でした。会費等の改定をお願いすると共に、維持会費の納入を会員の皆様方にご協力頂いた結果、毎年の定期総会開催が可能になっただけでなく、シンボルマークや、ロゴタイプ、総会機材の製作、高校卒業生への記念品贈呈、同窓会旗等も備えられ、活動も充実してまいりました。更に昨年度からは、同窓会の大きな目的目次願であった学校支援のための積立基金も開始することが出来ました。

また、定期総会の試みとして会場を母校にお願いした結果、心の拠り所であるチャペルにて総会を、学校の施設で懇親会を行なうという体制が整いました。池袋と新座は私達には懐かしい思い出の場所であり、在職・退職の先生方にも多くご参加頂き、交流を深める楽しい機会となりました。

私達は同窓会のより一層の充実・発展を願って理事会、そして新たに導入した各種委員会をととして、話し合いと試行錯誤を繰り返しておりますが、毎年の総会・懇親会の盛会は、何よりも会員の皆様と先生方のお支えによるものであると深く感謝申し上げます。

最後になりましたが、同窓会の活力を失わないために会長任期を2期8年としており、私は今総会をもちまして退任致します。皆様のお力により無事8年間の役割を終えられることをここに厚く御礼申し上げます。今後とも新会長を始めとする新執行部に対しても、皆様方の変わらぬご支援をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

実行委員長挨拶

立教中学校・高等学校同窓会 60周年記念実行委員長 小林芳夫



立教中学校高等学校・同窓会設立60周年に際し、ご挨拶申し上げます。

1948年に開設された立教中学校・高等学校の前身は、1896年設立の立教尋常中学校という事になります。勿論、その礎は1874年2月3日にアメリカ聖公会のチャニング・ムーア・ウィリアムズ主教が開かれた聖書と英語の私塾であります。

同じ礎から設立された私立立教学院立教大学は1907年の設立であり、立教小学校の設立が1948年である事を考えますと、現在の立教各学校の中で最も長い歴史を持つ学校は立教中学校・高等学校であるとも言え、その長さはゆうに100年を超えます。

一方立教中学校・高等学校同窓会は、戦後の学制改革後の1951年に設立され今年で満60年となります。

満60周年を記念して、同窓会として初めての周年行事を行う事となりました。

「会員相互の親睦を厚くし、母校の発展を期する」目的を持った同窓会の活動に、より多くの同窓生の方々の参加をお待ち致します。

今年の6月25日(土)の立教中学校・高等学校同窓会設立60周年記念式典に、是非ご出席ください。

立教中高同窓会60周年に寄せて

立教新座中学校・高等学校 校長 渡辺憲司



60周年おめでとうございます。

同窓会還暦の年を迎え、新たな取り組みにおける、大きな飛躍を祈念いたしております。

私は、長く立教大学で教鞭をとり昨年3月文学部日本文学科を定年退職、同年8月に、前校長西村氏、病気のため職を辞された後を受けて校長に就任いたしました。まだ1年に満たぬ新参者でございます。

伝統のある本校の校長に就任したことに強く誇りを感じ、又重い責任を感じております。着任にあたって、私は、教育の志と題した、新入生への短いコメントを求められ、<世界に羽ばたく紳士への道>と題し、次のように記しました。

「紳士とは表面的・感覚的な物言いではありません。立教ジェントルマンの誇りを胸に、毅然たる勇気を有する、愛と正義の飛翔精神です。世界のあらゆる人への凛とした優しさが、紳士の道です。スポーツマンスピリットをはぐくむ首都圏最大級のスポーツ施設、若き知性を育てる中学・高校有数の図書館、そして緑陰のキャンパスが迎えます。私たちは、キリスト教主義教育理念<愛と寛容と自由>の精神によって、生徒一人一人の個性に正面から向き合い、その底知れぬ潜在的な能力を引き出します。」

同窓生の皆さんは、まさに立教ジェントルマンのスピリットを有し、世界に羽ばたいている方々であります。少年の頃に培われた、キリスト教主義教育理念<愛と寛容と自由>の精神が、その背景にあることは言うまでもありません。同窓会の意味するところの意義は、過去を懐かしむ点であります。懐古の情を共同体の礎とすることは、実に意義深いことでもあります。

その核になるのが、立教の場合は、キリスト教教育であることは間違いありません。時を又場を同じくした者が、<愛と寛容と自由>の精神を語り合うことが同窓会の本質的意義であります。やがて皆さんの仲間になる生徒を預かる我々教職員一同は、このことを肝に銘じて、生徒たちと共に歩んでいきたいと考えています。

過去を懐かしむと同時に、否、それ以上に重要な同窓会の使命は、子供たちの未来への夢の架け橋になることでもあります。幸いなことに、立教新座中学校・高等学校は、おそらくこれから、未来永劫とまで言わずとも、60年は確実にその教育的使命を終わることはないでしょう。私たちがその安心感に浸ることができるのは、ひとえに、この60年間の卒業生の営々たる飛翔精神の積載の結果であります。心の底からその努力に敬意と感謝を申し上げたいと思います。

そして、又子供たちの未来のためにという気高き夢の架け橋は、継続しなければなりません。持続的に発展しなければなりません。60年後、さらにその60年後、おそらく今ある同窓会のメンバーは、千の風となるか、或いは静かに奥津城にあるか、いずれにしてもこの世にいません。同窓会の使命を考えると、このことは枢要です。まさに、同窓という美名に託して、われわれは未来に繋がるのであります。

私たちは、教育施設・環境を誇りとしてきました。スポーツマンスピリットをはぐくむ首都圏最大級のスポーツ施設、<若き知性を育てる中学・高校有数の図書館>これらもすべて同窓生諸氏の浄財がなせる、子供たちの未来を思う虹の架け橋であります。本校舎も50年前、当時最も先進的な設計者であった、レーモンド氏によるものです。

しかし、その校舎も老朽化しました。急速な技術革新にも大きな遅れを取りました。ライバル校である大学付属の中学・高校の校舎に比すればその後塵に位置することは明らかであります。体育館・プール・グラウンド・学生会館など、青春を彩った設備に関する我々の誇りは、今や風前の灯であります。

立教の校舎は、美しくなければなりません。毅然とスマートでなければなりません。科学と文化をリードするシンボルが校舎です。それは立教のステイタスを裏打ちするものです。60年後の教育現場に、私たちの夢を残そうではありませんか。

60年前の少年の瞳の輝きは、60年後の少年の瞳に確実に受け継がれます。

2014年竣工を目指し、幾度か挫折に終わった校舎建築計画も進行しています。夢を育む一大プロジェクトに、切なる協力を仰ぐ次第であります。

過去と未来の交差点、同窓会60周年、6月25日にお会いしましょう。

未来永劫の立教中学校・高等学校同窓会の発展に、幸あれと祈ります。

立教中高同窓会 60周年に寄せて

立教池袋中学校・高等学校 校長 鈴木 弘



中高同窓会設立記念60周年、おめでとうございます。

1960年に立教高等学校が池袋から新座に移転してから半世紀を越えています。歴史を重ねながら立教中学校と立教高等学校は変わらぬ理念の中で、その後も様々な教育改革を進めてまいりました。その中でも特筆すべきことは立教中学校と立教高等学校がそれぞれの地で中高6年制の学校に生まれ変わったことでしょう。

このような移り変わりの中で、中高同窓会も今後どのような形態をとって行くのがよいのか、時の流れと次代の同窓生諸氏にお任せし今後の発展をお祈りしたいと思います。

さて、今年度は中高同窓会60周年記念ということ、そして本校を日頃から支えてくださっている同窓生諸氏への感謝の意も含めまして、本校教職員は定期総会・記念祝賀会に全員参加を予定しております。私たちにあって懐かしい同窓生諸氏との再会の場となることを願っております。

ここで最近の池袋中高のご報告です。『立教中学校』時代のころから比べると大きく変化しています。高校ができてからは立教大学からの非常勤講師の先生も多くなりました。3月末現在で教職員は総勢89名、うち専任教職員として49名(女性は教諭4名、職員2名)が勤務しています。専任教職員は51%がクリスチャン、49%が立教学院各校のいずれかを卒業された方々です。最年長の先生は女性では図書館の上野和子司書教諭、男性では保健体育科の岸博克教諭です。

施設面では、新体育館の工事がこの春から始まりました。また、少人数教育を目指し新教室棟建設も来年から始まります。いずれの施設も2013年度から使えるようになります。そのため現在、立教学院全体で募金活動を行っております。この募金への同窓生諸氏のご協力もお願い申し上げます。

本校は新座校と比べれば規模も小さくスリムな学校です。しかし、その分生徒と親密な関係を作り、教職員がひとつにまとまり力を合わせて「立教の教育」をさらに高め具現する努力をしています。

ウィリアムズ主教が建てたこの学校の初心を忘れないこと、これこそが私たちの使命であり、次の未来へ歩を進める大切な「いしづゑ」となります。本校をここまで献身的に育て上げてこられた同窓生諸氏のご尽力に感謝すると共に、立教の良き伝統を守り、そして新たなる挑戦を恐れず、本校の使命をさらに実践していきたいと思っております。

今後も立教池袋中学校・高等学校へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

お断り

ここに掲載された原稿は、3月10日以前にいただいたものです。

このたびの東北地方太平洋沖地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。



奨励

司祭 齋藤英樹
(卒業生 水戸聖ステパノ教会)



私は1957年、昭和32年に中学に入学し、1960年、昭和35年に高校に入ったものです。高校がこの新座に移った最初の入学生というわけです。

今日は同窓会ということもあり、私の時代の方々には忘れられない事件をお話したいと思います。

1959年11月26日、私が中学2年ときの出来事です。英語の先生だったペリー先生が酔った他の大学の学生に殴り殺されました。先生は救急車で運ばれながら奥様に「彼らは若い。彼らの罪が軽くなるように運動しなさい。」といいながら息を引き取りました。事件の翌日、秋の社会科見学に出発するときに池袋の中学の校庭で聞きました。

信じられませんでした。事件ではなく、先生の亡くなり方です。イエスは十字架につけて殺されました。その十字架のうでで神に祈ります。「父よ、彼らをお許しください。自分が何をしているのか分からないのです」と。私は父も牧師でしたから、子供のときからこの話を聞いてきました。この聖書を読むたびに、「イエス様は神様だからできた。私たち人間はこんなことはできない。イエス様はすごいな〜。」と自分とは関係ないものとして読んできました。

ところが今、自分の先生が同じように息を引き取ったのです。殺されながら、許すと。聖書を少し読み直しました。イエスを神の子として読むと同時に、人間としてイエスを見ようと思いました。すると人間イエスが見えてきました。「神様が造った人間は素晴らしい作品なのではないか。」と考えるようになりました。「神様は素晴らしい人間を創造して下さったのではないか。」と考えるようになりました。そして私たちの中に眠っているその素晴らしいものに気がついてほしいと思うようになり、人間を相手にする仕事、牧師になりたいと初めて思いました。教師になれるはずはなかったからです。

大学に入ってペリー先生の奥様の話を聞きました。奥様はこの青年たちをずっと刑務所に訪問した、というのです。愛するご主人を殺された彼らの元を尋ね、「私はあなた方を許す」と伝え続けたというのです。もう一度襟を正し、牧師の道を歩むべく鞭打たれたように思っています。

それから数十年、私はこの高校でチャプレンをさせていただき、大学のチャプレンもさせていただきました。大学のチャプレンをしているときにペリー先生のご遺族からの依頼で、立教大学チャペルにお二人の納骨をいたしました。池袋のチャペルの祭壇の左側に納骨されています。そこにはご存知の方もいらっしゃるでしょう、あの竹田チャプレン(愛称:ファータケ)も一緒にいらっしゃいます。

私が今日、皆さんに申し上げたいのは、ひとつ、神様は素晴らしい人間をお造りくださったということ。そして、神様は不思議に私たちにかけわり、導いてくださるといことです。どうぞ立教に学んだこと、キリスト教に触れたことを大切に、私たちの中に生き続けてくださる方によってこれからの一人一人の人生を歩んでください。神様の豊かな祝福と導きを祈っています。

(2010年同窓会感謝礼拝にて)

2010年定期総会の報告



2010年6月19日(土)午後4時より立教新座キャンパスにおいて、立教中学校・高等学校同窓会が開催されました。聖パウロ礼拝堂にて感謝礼拝および総会ならびに表彰式。その後大学食堂へと移動し、大学生のバンド演奏等もあり、同窓生や懐かしい先生方と語り合い、楽しい懇親会が行われました。同窓生99名、教職員(元、現)32名の方が参加してくださいました。

収支計算書 2009年4月1日から2010年3月31日まで

科目	決算額	備考
(収入の部)		
① 会費収入		
新座校第61回(08年度)卒業生会費収入	3,060,000	@10,000×306名
池袋校第8回(09年度)卒業生会費収入	1,240,000	@10,000×124名
維持会費収入	1,710,046	615名(振込584名+当日31名)
② 行事収入		
総会懇親会収入	796,000	161名(振込126名+当日35名)
キーホルダー売り上げ代	108,000	@2,000×54個
③ 資産運用収入		
受取利息	1,621	
収入合計	6,915,667	
(支出の部)		
① 事業費支出		
総会時諸費支出	862,995	飲食代他
印刷費	2,258,008	会報/総会案内制作費・送料
通信費支出	32,700	退職教職員等案内送料他
記念品支出	606,527	勤続・退職教職員/新会員記念品他
② 管理費支出		
理事会諸支出	236,238	会議費
校友連合会分担金支出	20,000	年会費
消耗品支出	0	
通信運送支出	0	
渉外費支出	0	
その他支出	90,594	振込手数料
③ 特定資産取得支出	0	
寄付金引当特定資産取得支出	8,000,000	
④ 予備費支出	0	
支出合計	12,107,062	
当期収支差額	△ 5,191,395	
前期繰越額	10,430,539	
次期繰越額	5,239,144	

収支予算書 2010年4月1日から2011年3月31日まで

科目	予算額	備考
(収入の部)		
① 会費収入		
新座校第62回(2009年度)卒業生会費収入	3,160,000	@10,000×316名
池袋校第9回(2010年度)卒業生会費収入	1,280,000	@10,000×128名
維持会費収入	1,800,000	2,000×900口
② 行事収入		
総会懇親会収入	800,000	振込金+当日会費
③ 資産運用収入		
受取利息	5,000	
収入合計	7,045,000	
(支出の部)		
① 事業費支出		
総会時諸費支出	1,200,000	飲食代他
印刷費	2,500,000	会報・総会案内制作・送料
通信費支出	40,000	退職教職員案内送料他
記念品支出	750,000	勤続・退職教職員/新会員記念品他
② 管理費支出		
理事会諸支出	300,000	会議費
校友連合会分担金支出	20,000	年会費
消耗品支出	100,000	
通信運送支出	20,000	
渉外費支出	50,000	
その他支出	100,000	振込手数料他
③ 特定資産取得支出		
寄付金引当資産取得支出	4,000,000	寄付金引当預金
④ 予備費支出	500,000	
支出合計	9,580,000	
当期収支差額	△ 2,535,000	
前期繰越額	5,239,144	
次期繰越額	2,704,144	

2010年 総会出席教職員 (敬称略)

立教池袋

鈴木 弘 (校長)	国見 登 (元、校長・理科)
増田 毅 (教頭:保健体育科)	中島 博 (元、校長・国語科)
市原 信太郎 (チャプレン)	伊藤 俊太郎 (元、社会科)
押田 修実 (事務長)	坂西 公一 (元、音楽科)
古賀 賢之 (保健体育科教諭)	高野 利雄 (元、社会科)
藤本 勉 (英語科教諭)	
荻原 正人 (職員)	
新井 努 (職員)	

立教新座

西村 俊彦 (校長)	後藤 篤 (元、校長・理科)
澁谷 壽 (教頭:数学科)	齋藤 英樹 (元、チャプレン)
鈴木 伸明 (チャプレン)	上野 明徳 (元、保健体育科)
西海 雅彦 (チャプレン)	海野 慎次 (元、数学科)
村上 秀幸 (事務長)	大貫 金吾 (元、数学科)
清水 邦彦 (数学科教諭)	清水 靖夫 (元、社会科)
田中 俊江 (国語科教諭)	鈴木 武次 (元、社会科)
山内 辰治 (理科教諭)	大宮司時四郎 (元、保健体育科)
佐藤 亜紀 (職員)	日高 宏 (元、理科)
内藤 誠 (職員)	前田 忠昭 (元、英語科)
萩 弘治 (職員)	森田 利光 (元、教頭・英語科)
星野 一朗 (職員)	山本 道雄 (元、理科)
	菅原 米子 (元、職員)

2010年度 教職員退職者・就任者・逝去者 (敬称略)

立教池袋

就任者 市原 信太郎 (チャプレン)
伊藤 俊 (数学科教諭)
新井 努 (職員)

立教新座

就任者 蛭田 量 (英語科教諭)
逝去者 吉田 百枝 (元、職員)8月3日歿
宮島 俊雄 (元、職員)8月22日歿

